

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 606 号	氏名	糸永 英弘
学位審査委員	主査 前田 隆浩 副査 柳原 克紀 副査 本田 純久		
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、成人 T 細胞白血病・リンパ腫(ATL)に対するドナーリンパ球輸注療法(DLI)の治療効果を研究し、移植片対 ATL(GvATL)効果の存在と治療法としての意義を検証したものであり、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 同種造血幹細胞移植を実施された後に再発・再燃を来した ATL 症例を対象に、DLI の効果予測因子を統計学的に解析し、DLI 実施症例と非実施症例について再発後の全生存率を Kaplan-Meier 法で算出したものであり、GvATL 効果を利用した治療法を検証する上で妥当な研究手法である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、DLI の治療効果予測因子が明らかになり、DLI が再発後にも長期生存をもたらさしうる治療法であることが示された。GvATL 効果の存在をより明確に証明するとともに、GvATL 効果を利用した治療法の有用性が示され、基礎と臨床の両面で研究の進展が期待される。</p> <p>以上のように、本論文は ATL に対する治療法、および腫瘍免疫の研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			